

決算議案委員長報告

九月議会で各常任委員会に付託されていた「平成十九年度各会計決算議案委員長報告」が行われ、久永議員の賛成・反対討論のあと採決され、賛成多数で認定されました。委員長報告の要約文と討論の要旨を紹介します。

総務文教委員会

平成十九年度決算議案十件を審査した。

一般会計決算議案のうち総務文教委員会の所管に属する事項、及び公共用地取得事業特別会計決算議案は、審査の結果、賛成多数で認定とした。六件の各財産区会計決算議案と、二件の各奨学金特別会計決算議案は、特に質疑もなく、全員一致で認定とした。

厚生委員会

平成十九年度決算議案四件を審査した。まず、「一般会計歳入歳出決算」、「国民健康保険特別会計歳入歳出決算」及び「介護保険特別会計歳入歳出決算」は、採決の結果、賛成多数で認定とした。次に、「老人保健特別会計歳入歳出決算」は、審査の結果、全員一致で認定とした。

産業委員会

平成十九年度決算議案二件を審査した。議案第三十八号では、TMO事業補助金について、中心市街地活性化基本計画との兼ね合いの中で来年度以降単独市費による事業継続を検討中との答弁があった。また、空き店舗対策補助金の運用状況や畜産費の中で堆肥活用の取り組み等について質疑応答がなされたのち、全員一致で認定と決した。議案第四十号については審査の結果、全員一致で認定と決した。

建設水道委員会

平成十九年度決算議案七件を審査した。議案七件についてはいずれも、全員一致で原案のとおり認定と決した。グリーンヒルズ津山の岡山県への存続要望、下水道事業の将来計画を二十一年度に見直すことや、水道事業の健全経営を継続させる企業努力をすることなど要望や意見が出された。

決算議案委員長報告に対する賛成・反対討論

無謀な公共事業の破綻の穴埋めなどに反対

日本共産党津山市議団 久永良一
市はむこう四年間、収支バランスが崩れ、二十六億円（四年間合計）の財源不足が生じる。国の交付税削減と共に、大きいのが、アルネ破綻処理の借金返済（年、二億八千万円）だ。推進したものは誰も責任をとらないため、結局、税金で穴埋めをしている。こんな、税金の使い方に反対。グリーンヒルズ廃止が問題となっているが、一番に反対したのは無駄な箱ものづくりと県施設の管理を津山市が負担してきたことだ。計画が間違っていた。その他、学校校務員の引き上げなどに反対。

十二月議会・委員長報告に対する賛成・反対討論

各常任委員長から、十二月議会に提案された各議案の審査結果の報告が行われ、委員長報告に対する「賛成・反対」討論が行われました。これは、各議員及び各会派が、どのような内容の施策に、どんな理由で賛成をし、反対をするのかを明らかにするものです。十二月議会は、一つの会派が討論を行いました。その要旨を紹介します。

都市整備公社の負債整理などについて

日本共産党津山市議団 末永弘之

津山市立久米保育所運営委託に係る「保育所引継保育委託料・五十二万九千円について反対。次に、指定管理者制度は「地方自治体の本来の責務から見て、安かろう、良かろう」という施策を講ずるべきではない。特に、津山市都市整備公社が行っている業務を指定管理者へ契約替えをした。土地開発公社と都市整備公社の「借金の解決・将来の運営のあり方」が大いに論議され、津山市も「経営検討委員会」を立ち上げて検討が行われる予定。これらの結論が出されないままに、単純に「指定管理者の制度枠」に入れて、公募で安いところに落とししていく、ということ、本当に「都市整備公社」などの「負債の整理・経営改善」となっていくのか検討をすべきであると申し上げ、反対。